

# ながあるき城の

歴史トレッキングガイド

## あまかざり 尼巖城跡 トレッキング

ビューポイントも  
多い爽快コース!

尼巖山  
780.9m

S → 2.03km (約1時間40分)

S 長礼・天王山登山口  
↓1.675m 225m  
岩場(巨岩) → 堀切  
↓130m  
尼巖城跡(山頂)

S → 片道 0.96km (約1時間10分)コース

S 岩沢登山口  
↓405m  
天の岩戸 → 555m  
尼巖城跡(山頂)

S → 1.58km (約1時間30分)コース

S 池田の宮登山口  
↓412.5m  
天王山 → 812.5m ↓225m  
岩場(巨岩) → 堀切  
↓130m  
尼巖城跡(山頂)



① 尼巖城跡遠景



② 天の岩戸(岩屋) ▶ 戸隠にもっとも近い天岩戸伝説が残る場所。大岩に半円形の穴が開いている。



③ 岩場(巨岩) ▶ 垂直に近い岩場が大迫力!



④ 尼巖城跡(山頂) ▶ 山頂の主郭は幅7.8m、長さ23.6mの大きさ。攻めにくく守りやすい城といわれた。



⑤ 辰巳岩より皆神山方面を望む ▶ 峠を監視する役割も担ったという城跡周辺は眺望もすばらしい。



尼巖城について

尼巖山の険しい絶壁の山頂に、土豪・東条氏が築城したとされる詰めの城。東条城とも称される。信玄は真田幸隆に、謙信側の軍事拠点であったこの城の攻略を命じ、幾たびかの攻略戦の末、ようやく陥落させたという。三方は断崖絶壁で、北西だけが尾根続きになっている。南方の敵に備えて築城されていることがわかる。



尼巖山について

標高780.9m。長野市の南南東に位置している尼巖山やその周辺は、豊かな自然や史跡・文化財等に恵まれている。山麓には国蝶オオムラサキ、また山頂付近にはヒメギフチョウが飛び交う。山城の遺構の他、古墳群や石幢(笠仏)など多くの石の文化財も。静かな山裾には、ゆったりと杏の里や肥沃な田園が広がっている。

### アクセスマップ



ながの山城あるき  
トレッキングガイド  
WEBサイトはこちら

